

IV 地域の活動

北海道銀杏会

◎ 北海道銀杏会が総会

事務局 藤井 文世

北海道銀杏会の第18回定時総会が4月23日、札幌市のホテルガーデンパレスで開かれ、会員40人が親交を深めました。挨拶に立った桑澤嘉英会長（法学部・昭和51年卒）は「コロナの感染状況を見ながら、今年はできるだけ行事を実施していきたい」と述べ、会の活性化を図る考えを示しました。議事に続いて、ヨコハマSDGsデザインセンター長の信時正人氏（工学部・昭和56年卒）が「SDGs未来都市への挑戦」と題し講演を行いました。同センターは国連が掲げる「持続可能な開発目標」を横浜市において達成するため設立された官民連携の支援組織。信時氏はオンデマンドバスの導入など実現した脱炭素の取り組み事例を紹介し、「SDGsは行政・企業・大学・市民など異質な人々の協働によって成り立つ」と述べられました。今年の総会では、コロナ禍で中止していた懇親会が4年ぶりに復活し、会員たちがこやかに交流しました。

